



平成30年4月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

南伊豆青年部が全国青年・女性漁業者交流大会で発表

南伊豆町
中木地区
ヒリゾ浜



↑ 実績
発表を行う南伊豆
青年部
高野克宏
氏

3月1～2日に東京のホテルグランドアーク半蔵門で第23回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、伊豆漁協南伊豆支所青年部の高野克宏さんが第5分科会多面的機能・環境保全部門で「美しい南伊豆の海を未来に～サンゴが息づくヒリゾ浜を紹介したい～」という題目で発表を行いました。（写真）伊豆の秘境、南伊豆町中木地区の「ヒリゾ浜」を観光資源として活用し、多くの観光客を呼び込み賑わいを創出する取り組みについて、美しい動画をふんだんに使用して紹介した発表は、審査員から高い評価を受け、水産庁長官賞を受賞しました。会場には南伊豆をはじめ賀茂地区からたくさんの仲間が応援に駆けつけました。

解説：全国青年・女性漁業者交流大会：全漁連が主催する漁業者による活動発表の全国大会。都道府県代表として推薦を受けたグループが実績発表を行い、参加者は知識や情報を共有することで交流を深める。

南伊豆でカジメ磯焼けの懸念

現在、今年のテングサ作柄予測のための潜水調査に併せてカジメ群落の状況を把握しています。その結果、南伊豆下流地先では高齢カジメの葉部が極端に少ない漁場がありました（写真）。カジメの幼体が大量に生えていますが、この幼体が夏を越すことができないと磯焼けとなります。カジメが枯れているなどの情報があればお知らせください。アワビが痩せている場合は、餌(カジメ)の豊富な漁場に移殖する必要があります。



← 高齢カジメの葉部が少なく、茎が林立する状態、カジメ幼体が下草として密生している。幼体が枯れると磯焼け。

解説：黒潮は昨年9月から大蛇行しており、7月までは継続すると予測されている。伊豆半島では黒潮大蛇行に伴いカジメ磯焼けが発生することが知られている。

4月の予定 ●熱海地区でヒラメの中間育成が始まります。 ●今年のアワビ放流が順次行われます。 ●今年の天草作柄を予測するため、潜水調査を引き続き行います。

キンメダイの捕獲・飼育

キンメダイの栽培漁業研究に使用するため、3月3日にキンメダイの捕獲を行いました。捕獲場所は矢筈出し漁場で、30尾を捕獲しました。現在、伊豆分場は建替え工事のため捕獲したキンメダイは焼津市の水産技術研究所深層水科に輸送しました。魚体サイズが400gから1kgとやや小型でしたが、非常に状態は良く、捕獲した全ての個体を研究所の水槽に収容することができました。陸上水槽での自然産卵を目指して養成を行います。

→
輸送トラックの水槽内を泳ぐキンメダイ



4月14日(土)に伊東市場にて『いとう漁協水産祭』が開催されます。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>